

# ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2013

## 別紙1(視点1:設備の省エネルギー性能) 6地域用

2013.10.01 版

■必ず、「平均U値等計算書」(熱貫流率計算書シートおよび面積表(6地域)シート)を添付して下さい。  
フォーマットは <http://www.jcadr.or.jp/> からダウンロードできます。

■必ず、この資料の記入内容に沿って「住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラム」(以下、算定プログラム。  
<http://house.app.lowenergy.jp>)で計算を行い、結果を添付して下さい。

■用語の定義等に関して、必ず算定プログラムの解説書(<http://www.kenken.go.jp/becc/index.html#TechnicalReport> の「一次エネルギー消費量算定プログラム解説(住宅編)」)を一読下さい。

### ■省エネルギーに関する仕様の詳細

設問に従い、各項目にチェックおよび仕様等を記入して下さい。

なお、ここで記入する設備種類・仕様等は、「平均U値等計算書」に示す住宅モデルにおいて採用するものとし、原則として上記の「住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラム」の入力内容と整合させて下さい。

### 1. 外皮の仕様について

単位温度差あたりの外皮熱損失量( $q$  値)、単位日射強度あたりの冷房期日射熱取得量( $m_c$  値)、暖房期日射熱取得量( $m_H$  値)を、「平均U値等計算書」の面積表(6地域)シートから転記して下さい。

$q$ 値:	[W/K]	(小数点以下 1 桁まで)
$m_c$ 値:	[W/(W/m <sup>2</sup> )]	(小数点以下 2 桁まで)
$m_H$ 値:	[W/(W/m <sup>2</sup> )]	(小数点以下 2 桁まで)

(注)通風の利用および蓄熱の利用については、算定プログラムでは「利用しない」を選択して下さい。標準仕様としてこれらを利用する場合は、別紙 2 にその概要を記載して下さい。

### 2. 設備の仕様について

標準で採用する設備について、そのメーカー・型番・仕様等を記入して下さい。

#### 2-1 暖房設備

(1) 暖房方式について、該当するもの一つに✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ダクト式セントラル空調を用いて、住宅全体を暖房する → (2)に記入して下さい
- 「主たる居室」と「その他の居室」の両方あるいはいずれかに暖房設備機器または放熱器を設置する  
→ (3) (4) (5) (6)に記入して下さい
- 暖房設備機器または放熱器を設置しない →2-2 冷房設備 に進んで下さい

(2) ダクト式セントラル空調について、熱源機のメーカー・製品型番を記入して下さい。

メーカー:	製品型番:
-------	-------

**別紙 1**

(3) 主たる居室の暖房設備機器または放熱器について、該当するものに✓を記入し、それぞれ囲みの各項目を記入して下さい。

- ルームエアコンディショナー

メーカー:	製品型番:
定格冷房能力: [W]	定格冷房消費電力 [W]
定格冷房エネルギー消費効率: [-]	
定格冷房エネルギー消費効率の区分(いずれかに✓): <input type="checkbox"/> (い) <input type="checkbox"/> (ろ) <input type="checkbox"/> (は)	
(注)「暖房能力」等ではなく、「冷房能力」等の数値を記入して下さい。	

- FF 暖房設備

メーカー:	製品型番:
定格能力におけるエネルギー消費効率:	[%]

- パネルラジエーター

メーカー:	製品型番:
-------	-------

- 温水床暖房

メーカー:	製品型番:
敷設率: [%]	上面放熱率 [%]

- ファンコンベクター

メーカー:	製品型番:
-------	-------

- その他の暖房設備機器

設備機器の種類:	
メーカー:	製品型番:

- 主たる居室には暖房設備機器または放熱器を設置しない

(4) その他の居室の暖房設備機器または放熱器について、該当するものに✓を記入し、それぞれ囲みの各項目を記入して下さい。

- ルームエアコンディショナー

メーカー:	製品型番:
定格冷房能力: [W]	定格冷房消費電力 [W]
定格冷房エネルギー消費効率: [-]	
定格冷房エネルギー消費効率の区分(いずれかに✓): <input type="checkbox"/> (い) <input type="checkbox"/> (ろ) <input type="checkbox"/> (は)	
(注)「暖房能力」等ではなく、「冷房能力」等の数値を記入して下さい。	

- FF 暖房設備

メーカー:	製品型番:
定格能力におけるエネルギー消費効率(不明の場合は空白可):	[%]

- 温水暖房用パネルラジエーター

メーカー:	製品型番:
-------	-------

- 温水暖房用床暖房

メーカー:	製品型番:
敷設率: [%]	上面放熱率 [%]

**別紙 1**

- 温水暖房用ファンコンベクター

メーカー:	製品型番:
-------	-------

- その他の暖房設備機器

設備機器の種類:	メーカー:	製品型番:
----------	-------	-------

- その他の居室には暖房設備機器または放熱器を設置しない

(5) (3)または(4)で、パネルラジエーター・温水床暖房・ファンコンベクターのいずれかにチェックした場合、その熱源機について該当するものに✓を記入し、それぞれ囲みの各項目を記入して下さい。

- 石油熱源機

メーカー:	製品型番:	定格能力におけるエネルギー消費効率(不明の場合は空白可):	[%]
-------	-------	-------------------------------	-----

- ガス従来型熱源機 (給湯機)

メーカー:	製品型番:	定格能力におけるエネルギー消費効率(不明の場合は空白可):	[%]
-------	-------	-------------------------------	-----

- ガス潜熱回収型熱源機 (給湯機)

メーカー:	製品型番:	定格能力におけるエネルギー消費効率(不明の場合は空白可):	[%]
-------	-------	-------------------------------	-----

- 電気ヒートポンプ式熱源機

メーカー:	製品型番:
-------	-------

- コージェネレーション

メーカー:	製品型番:
-------	-------

(6) (3)または(4)で、パネルラジエーター・温水床暖房・ファンコンベクターのいずれかにチェックした場合、配管の断熱について該当するものに✓を記入して下さい。

- 温水配管に断熱措置を採用する  
 温水配管に断熱措置を採用しない

**2-2 冷房設備**

(1) 冷房方式について、該当するもの一つに✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ダクト式セントラル空調を用いて、住宅全体を冷房する → (2)に記入して下さい  
 「主たる居室」と「その他の居室」の両方あるいはいずれかに冷房設備機器を設置する  
→ (3) (4)に記入して下さい  
 冷房設備機器を設置しない →2-3 換気設備 に進んで下さい

(2) ダクト式セントラル空調について、熱源機のメーカー・製品型番を記入して下さい(暖房設備と同一の場合は省略可)

メーカー:	製品型番:
-------	-------

**別紙 1**

(3) 主たる居室の冷房設備機器について、該当するものに✓を記入し、それぞれ囲みの各項目を記入して下さい。

ルームエアコンディショナー（主たる居室の暖房設備と同一の場合は省略可）

メーカー:	製品型番:
定格冷房能力: [W]	定格冷房消費電力 [W]
定格冷房エネルギー消費効率: [-]	
定格冷房エネルギー消費効率の区分(いずれかに✓): <input type="checkbox"/> (い) <input type="checkbox"/> (ろ) <input type="checkbox"/> (は)	

その他の冷房設備機器

設備機器の種類:	製品型番:
メーカー:	

主たる居室には冷房設備機器を設置しない

(4) その他の居室の冷房設備機器について、該当するものに✓を記入し、それぞれ囲みの各項目を記入して下さい。

ルームエアコンディショナー（その他の居室の暖房設備と同一の場合は省略可）

メーカー:	製品型番:
定格冷房能力: [W]	定格冷房消費電力 [W]
定格冷房エネルギー消費効率: [-]	
定格冷房エネルギー消費効率の区分(いずれかに✓): <input type="checkbox"/> (い) <input type="checkbox"/> (ろ) <input type="checkbox"/> (は)	

その他の冷房設備機器

設備機器の種類:	製品型番:
メーカー:	

その他の居室には冷房設備機器を設置しない

## 2-3 換気設備

(1) 主要な換気設備の方式について、該当するもの(一つだけ)に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ダクト式第一種換気設備（熱交換型を含む） →下の囲みおよび(2) (3)に記入して下さい
- ダクト式第2種または第3種換気設備 →(2)に記入して下さい
- 壁付け式第1種換気設備 →下の囲みおよび(4)に記入して下さい
- 壁付け式第2種または第3種換気設備 →(4)に記入して下さい

第一種換気設備の有効換気量率:	[-]
-----------------	-----

(2) ダクト式換気設備の場合で、以下に示す項目に該当するものがある場合、いずれか一つだけに✓を記入して下さい。

- 径の太いダクトを使用する
- 径の太いダクトを使用し、かつDC モーターを採用する
- 比消費電力で省エネルギー効果を評価することができる →下の囲みに記入して下さい

①基本となる比消費電力: [-]	②効果率 [-]
③比消費電力(①×②): [-]	

(3) ダクト式第一種換気設備で熱交換型換気を採用する場合は、以下に熱交換効率を記入して下さい

熱交換効率:	[%]
--------	-----

(4) 壁付け換気設備を設置する場合で、比消費電力で省エネルギー効果を評価することができる場合、下の囲みに記入して下さい（※記入は必須ではありません）。

比消費電力:	[-]
--------	-----

(注)算定プログラムでは換気回数を 0.5 回として計算して下さい。

**別紙 1****2-4 給湯設備**

(1)給湯熱源機について、該当するもの(一つだけ)に✓を記入し、それぞれ囲みの各項目を記入したうえで「→」以降の指示に従って下さい。

- ガス給湯機 →(2)～(7)に記入して下さい

メーカー:	製品型番:	JIS 効率(不明の場合は空白可):	[%]
-------	-------	--------------------	-----

- 石油給湯機 →(2)～(7)に記入して下さい

メーカー:	製品型番:	JIS 効率(不明の場合は空白可):	[%]
-------	-------	--------------------	-----

- ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機 →(3)～(7)に記入して下さい

メーカー:	製品型番:
種類(いずれか一つに✓):	<input type="checkbox"/> ハイブリッド1 <input type="checkbox"/> ハイブリッド2

- 電気ヒートポンプ給湯機 →(2)～(7)に記入して下さい

メーカー:	製品型番:	JIS 効率(空白不可):	[%]
-------	-------	---------------	-----

- コージェネレーション →(2)～(7)に記入して下さい

メーカー:	製品型番:
-------	-------

- その他の給湯設備機器 →(2)～(7)に記入して下さい

給湯設備機器の種類:	メーカー:	製品型番:
------------	-------	-------

- 給湯設備機器を設置しない →(3)～(7)に記入して下さい

(2)ふる機能について、該当するもの(一つだけ)に✓を記入して下さい。

- 給湯単機能       ふろ給湯器 (追焚なし)       ふろ給湯器 (追焚あり)

(3)給湯配管方式について、該当するもの(一つだけ)に✓を記入して下さい。

- 先分岐方式  
 ヘッダー方式 (分岐後のすべての配管径が13A 以下)  
 ヘッダー方式 (分岐後のいずれかの配管径が13A より大きい)

(4) 台所水栓について、「2 バルブ水栓以外のその他の水栓」を標準採用する場合、下の囲みにメーカー・型番を記入したうえで、節湯機能で該当するものがあれば✓を記入して下さい。

メーカー:	製品型番:
<input type="checkbox"/> 手元止水機能を有する	<input type="checkbox"/> 水優先吐水機能を有する

(5) 浴室シャワー水栓について、「2 バルブ水栓以外のその他の水栓」を標準採用する場合、下の囲みにメーカー・型番を記入したうえで、手元止水機能を有する場合は✓を記入して下さい。

メーカー:	製品型番:	<input type="checkbox"/> 手元止水機能を有する
-------	-------	-------------------------------------

(6) 洗面水栓について、「2 バルブ水栓以外のその他の水栓」を標準採用する場合、下の囲みにメーカー・型番を記入したうえで、水優先吐水機能を有する場合は✓を記入して下さい。

メーカー:	製品型番:	<input type="checkbox"/> 水優先吐水機能を有する
-------	-------	--------------------------------------

(7) 浴槽について、高断熱浴槽を標準採用する場合、下の囲みにメーカー・型番を記入して下さい。

メーカー:	製品型番:
-------	-------

(注)太陽熱給湯を行う場合は、算定プログラムでは計算せず、別紙2に概要を記載して下さい。

**別紙 1**

**2-5 照明設備**

(1) 主たる居室の照明設備について、下表で該当する組合せ(一つだけ)に✓を記入して下さい。

設置の有無	白熱灯	多灯分散照明方式	調光が可能な制御	チェック欄
設置しない				<input type="checkbox"/>
設置する	すべての機器において使用しない	採用しない	採用しない	<input type="checkbox"/>
			採用する	<input type="checkbox"/>
		採用する	採用しない	<input type="checkbox"/>
			採用する	<input type="checkbox"/>
	いずれかの機器において使用する		採用しない	<input type="checkbox"/>
			採用する	<input type="checkbox"/>

(2) その他の居室の照明設備について、下表で該当する組合せ(一つだけ)に✓を記入して下さい。

設置の有無	白熱灯	調光が可能な制御	チェック欄
設置しない			<input type="checkbox"/>
設置する	すべての機器において使用しない	採用しない	<input type="checkbox"/>
		採用する	<input type="checkbox"/>
	いずれかの機器において使用する	採用しない	<input type="checkbox"/>
		採用する	<input type="checkbox"/>

(3) 非居室の照明設備について、下表で該当する組合せ(一つだけ)に✓を記入して下さい。

設置の有無	白熱灯	人感センサー	チェック欄
設置しない			<input type="checkbox"/>
設置する	すべての機器において使用しない	採用しない	<input type="checkbox"/>
		採用する	<input type="checkbox"/>
	いずれかの機器において使用する	採用しない	<input type="checkbox"/>
		採用する	<input type="checkbox"/>

**2-6 太陽光発電設備**

太陽光発電設備を標準で採用する場合、下の囲みの各項目を記入して下さい。なお、パネルは住宅モデルにおける南面屋根(約 33m<sup>2</sup>)に設置するものとし、**システム容量は 6.0kW を上限とします。**

メーカー:	製品型番:
太陽電池アレイのシステム容量:	[kW]
太陽電池アレイの種類(いずれかに✓):	<input type="checkbox"/> 結晶系太陽電池 <input type="checkbox"/> 結晶系以外の太陽電池
太陽電池アレイ設置方式(いずれかに✓):	<input type="checkbox"/> 架台設置形 <input type="checkbox"/> 屋根置き形 <input type="checkbox"/> その他

(注)太陽光発電を採用する場合、算定プログラムでは以下のように設定して計算して下さい。

「方位の異なるパネル」:1 面、「年間日射地域区分」:A3 区分(中程度)

「パネル設置方位角」:真南から東および西へ 15 度未満、「パネル設置傾斜角」:20 度

**2-7 コージェネレーション**

コージェネレーション設備を標準で採用する場合、該当するもの(一つだけ)に✓を記入し、下の囲みを記入して下さい。

- PEFC1       PEFC2       PEFC3       PEFC4/6       PEFC5  
 SOFC1       SOFC2       GEC1       GEC2

メーカー:	製品型番:
-------	-------